

白山市立 笠間中学校 前期取組

担当 蔵谷 朋也
上出 裕子

前期の共通目標

- ▶ タブレットを用いて自分の考えを他者に公開し、コメントをもらいながら考えを深めることができる。
- ▶ キーボードや音声の入力機能やカメラ機能、ファイルの共有機能、コメント機能を利用できる。
- ▶ タブレットを用いたデジタルベースの作成方法を理解する。



校内研修①

- ▶ 本年度の笠間中の目標について
- ▶ GIGA校内研修年間計画について
- ▶ スマートスクール 라이브러리内の
オンデマンド研修動画の視聴



教科での実践例① 数学

「確認テスト」

【方法】 Teamsを通して、Microsoft formsで作成したテストに生徒各自で挑戦する。レベル1～3まで用意し、8割正解で次のレベルに進むというルールのもと授業をおこなった。テストは、四者択一の問題となっており、すべて解答を終えると正解だったかどうか分かるようになっている。ただし、答えは表示されないのので、8割未満だった生徒は、もう一度解き直し、テストに再チャレンジするという流れで行った。

【成果】 生徒達は、上のレベルを目指し、意欲的に取り組むことができた。

【課題】 ①数学が苦手な生徒がなかなか次のレベルに進めなかった。

⇒ヒント機能を有効に活用する。

②分からなかったときに、当てずっぽうで正解して、次に進む生徒もいた。



教科での実践例② 理科



「グループでテストづくり」

【方法】 SKYMENUのノートの機能を使って、各自で作成した問題を書き込む。その後、グループ機能を使って作成した問題を共有し、プリントに問題を書き写す。時間を計り、同じグループの生徒が作成した問題に取り組む。時間がきたら、各自でSKYMENUノートに答えを書き込み、みんなで確認する。

【成果】 ①問題や答えを、それぞれのタイミングで確認できた。
②タブレットで拡大できるので、見えやすい。

【課題】 グループ番号をひとりの生徒が間違えると、他のグループのノートも共有されてしまった。



教科での実践（国語）

- ▶ インターネットでの情報収集
- ▶ パワーポイントを活用した
プレゼンテーション
- ▶ 意見発表における
資料の提示



教科での実践（社会）

- ▶ デジタル教科書の活用や
動画の視聴
- ▶ 必要感のある課題の提示
- ▶ インターネットでの
情報収集

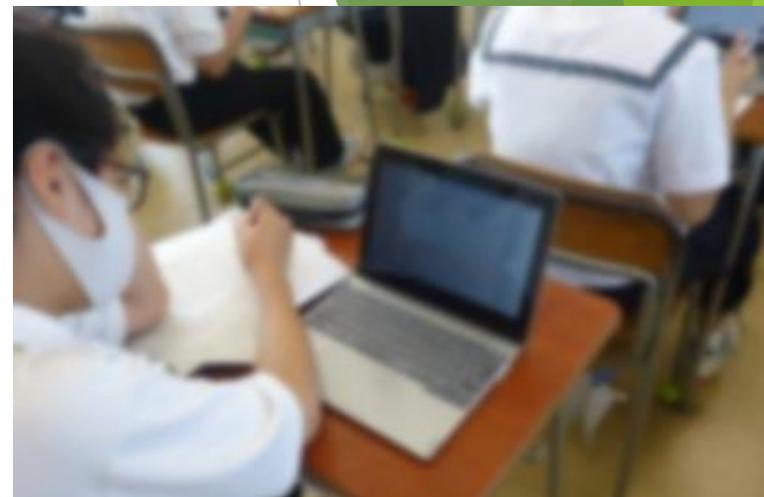


どちらが日本産?? どうして値段がちがうの?



教科での実践（数学）

▶ 一人一問作成による
クラス全員でのテストづくり



▶ Teamsを通してformsを
利用した確認テスト



教科での実践（理科）

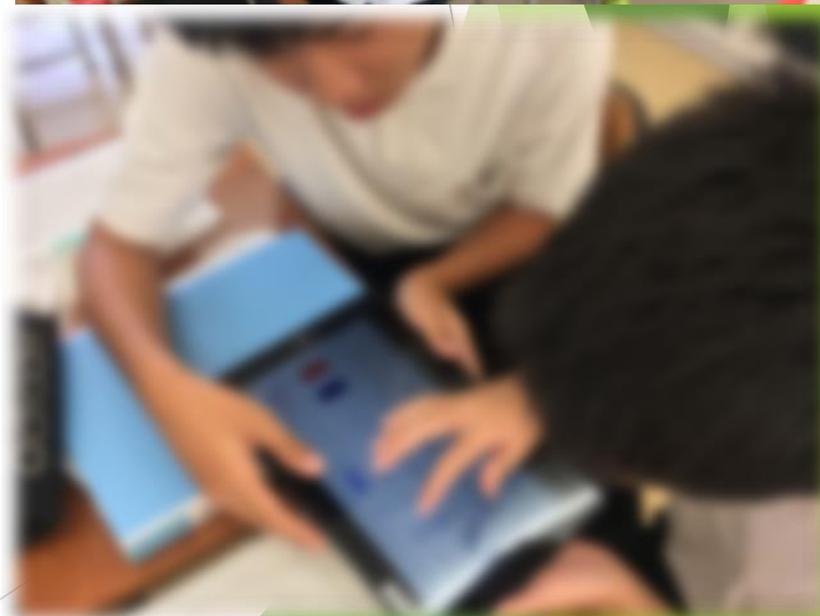
- ▶ 「動物の分類」 調べ
- ▶ パフォーマンステスト
- ▶ 結果および考察の共有
- ▶ 生徒の自作問題の共有

例	ープ	こんなおは	仲達の	おひまの	おもしろ	
タイ		水深200m-20m(深)	群に暮われ	エラ呼吸	網生	どこか一部分を配布に入れると茶持ちになると書かれている。
メダカ		小川水質	群でおわ	エラ呼吸	網生	
ハリセンボン		熱帯魚や淡水魚の海	針がとく	水質呼吸	網生	深々とかくと(針千本)と書くが実際は300~500本しかない
マダロ		海	すべてし	エラ呼吸	網生	ひたする魚ではない



教科での実践（英語）

- ▶ パフォーマンステスト
のリハーサル
- ▶ インターネットでの情報収集
- ▶ プレゼンテーション



教科での実践（保健体育）

- ▶ インターネットでの情報収集
- ▶ 練習の様子を動画撮影し、
各自でふりかえり
- ▶ ラジオ体操の練習



教科での実践（音楽）

▶ タブレット鍵盤を使って作曲



教科での実践（美術）

▶ 「漢字の感じ」

アイデアスケッチのための画像検索



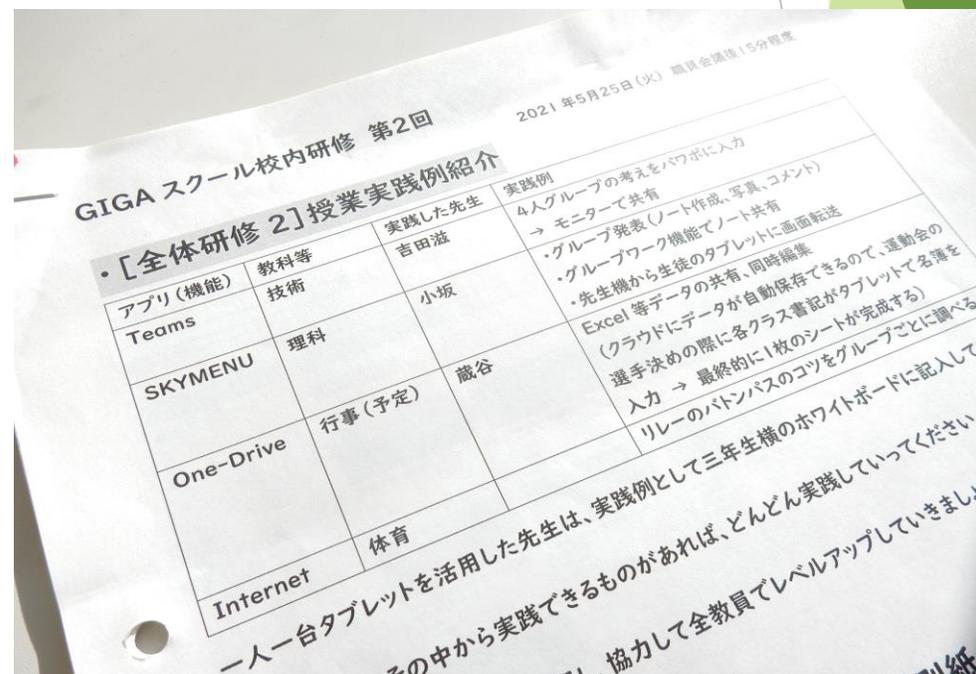
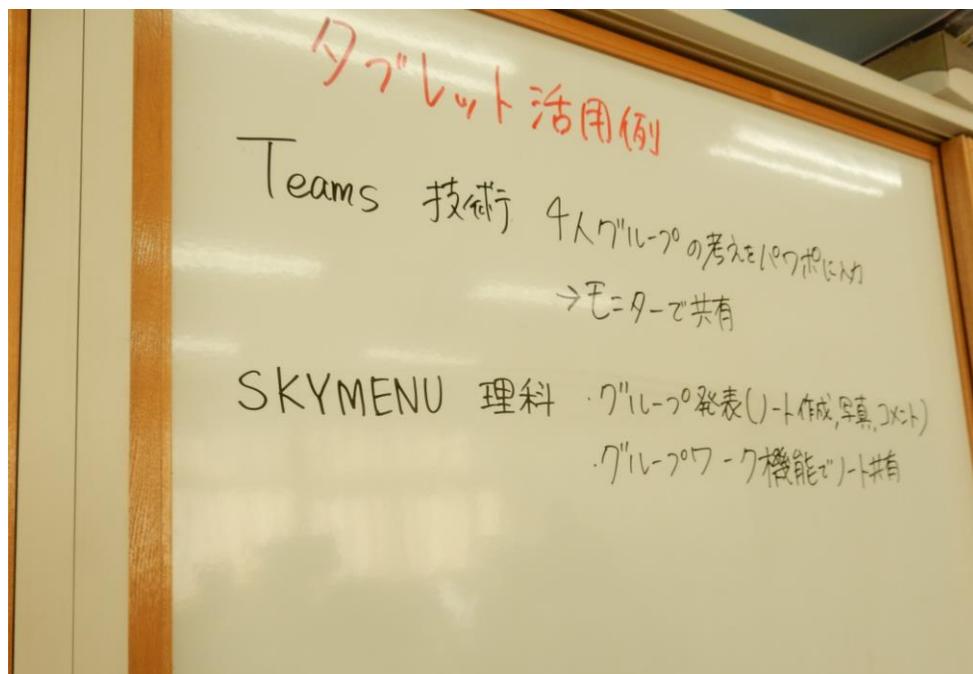
教科での実践（技術家庭）

▶ 枝豆の成長の記録を動画撮影



校内研修②（職員会議後）

- ▶ 授業実践例の紹介
- ▶ Teamsの活用方法の紹介



生徒会による活用

「クイズ大会」

【内容】 生徒会役員から全校全体でのイベントで、クイズ大会をしたいという意見が出てきた。具体的な内容としては、生徒会役員が問題を出し、各学級で考えた答えをホワイトボードにまとめ、テレビ画面に映し出し、正答数をクラス（運動会の団）対抗で競うというもの。リモート機能で全学級を一度に画面に映し出すことができ、コロナ禍ではあったが学校いちがんとになり、楽しむことができた。

「名簿作成」

【内容】 Teamsのエクセルの共有機能を使って、運動会の名簿を作成した。



成果と課題

- ◎各教科でさまざまな機能を使うことに挑戦できた。
- ◎生徒自ら、タブレットを活用したイベントを立案し、学校全体で実施できた。
- △不具合やアクシデントが多く、授業に支障がでている。⇒情報共有
- △生徒が自由に使える環境整備が必要である。